



令和7年度

# 館 報

埼玉県立嵐山史跡の博物館

# 令和7年度 館 報

## 目 次

第1章	沿革	1
第2章	菅谷館跡の概要	1
第3章	管理運営概要	3
1	嵐山史跡の博物館のミッション（使命）	
2	組織	
3	職員	
4	予算	
5	入館状況	
第4章	令和6年度事業報告	7
第5章	令和7年度事業計画	11
1	経営の基本方針	
2	中期目標	
3	重点事業	
4	事業の概要	
5	主な事業の内容	
第6章	収蔵資料概要	17
第7章	施設設備の概要	18
1	施設設備の概要	
2	各室配置図及び面積	
利用案内		22

## 第1章 沿革

---

昭和47年	8月	教育局文化財保護室において歴史資料館（仮称）建設のため調査開始
昭和48年	1月	歴史資料館（仮称）建設基本計画を作成
昭和48年	5月	菅谷館跡が国指定史跡に指定される
昭和48年	10月	建設予定他の発掘調査を実施（12月まで） 史跡菅谷館跡整備事業基本構想を策定
昭和50年	6月	歴史資料館（仮称）館舎竣工
昭和51年	4月	開館
昭和52年	9月	展示館竣工
平成3年	4月	皇太子殿下行啓（24日）
平成6年	3月	歴史資料館大規模改修工事完了
平成9年	4月	比企歴史の丘総合ガイダンス機能の導入
平成18年	4月	埼玉県立嵐山史跡の博物館としてリニューアルオープン
平成20年	3月	国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」として指定名称変更
平成28年	10月	施設改修工事竣工（外壁塗装、電灯LED化、収蔵庫空調設置、設備改修） 展示室学習コーナー整備
令和5年	10月	菅谷館跡国指定史跡50周年記念シンポジウムを開催

## 第2章 菅谷館跡の概要

---

### 1 位置と歴史

国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」は、鎌倉時代の武将畠山重忠が居住していた館に起源を持つと伝えられ、総面積は約13万平方メートルである。館跡は松山台地の最奥部に築かれ、南部は都幾川によって侵食された崖で、東と西は谷となっている。現在確認されている遺構は、この地形を巧みに利用した複雑な縄張りで、戦国時代に構築されたものと考えられている。

館跡の周辺には縄文時代から奈良・平安時代さらに鎌倉、室町、戦国の各時代にわたる遺跡が所在している。そして、この地は遺跡群の中を、古代から中世にかけて武蔵国と上野国、信濃国を結んだ通称「鎌倉街道」が通った交通の要衝でもあった。

比企地域には、現在分かっているだけで69ヶ所の中世城館の遺跡があり、関東を代表する城館跡群となっている。これらのうち、菅谷館跡・松山城跡・杉山城跡・小倉城跡が城郭規模や築城技術等の特徴、良好な保存状態から「比企城館跡群」として国史跡に指定された。

## 2 遺構概観

菅谷館跡は高い土塁と深い堀に囲まれ、五つの郭<sup>くるわ</sup>からなる複郭式の平城である。土塁には、戦国時代に出現する防衛上の重要な施設である「折」や「出柵形土塁」が要所に設けられている。

本郭は、四方を空堀と土塁に囲まれており、ここに畠山重忠の館があったのではないかと伝えられている。7月になると、本郭土塁には自生したヤマユリが開花する。

二ノ郭は、館跡の中央部分にあたり、東西に細長い郭である。土塁は高く幅広で「折」が三か所あり、一部は削平され芝生となっている。また郭内にはあずまや、ベンチ、水のみ場、トイレなどがあり、カンザクラやカワヅザクラ、モミジなどの花木を、四季を通じて楽しむことができる。

三ノ郭は菅谷館では最も広い郭で、発掘調査の結果、かつての建物跡や井戸の跡などがみついている。現在は博物館施設、駐車場、トイレ等が整備されている。郭の北側には搦手門跡<sup>からめてもんあと</sup>と伝えられる出入口（虎口<sup>こぐち</sup>）があり、現在は国道254号バイパスと博物館駐車場を結ぶ車道として使われている。なお、この虎口は、前面に急勾配をつけて敵の侵入を困難にさせる坂虎口という構造であったと考えられており、現在もわずかながら往時をしのぶことができる。

西ノ郭は、館跡の北西部分にあたり、本郭から最も離れている。ここには大手門跡と称される虎口がある。郭は長方形をしており、北から南に緩やかに傾斜している。三ノ郭との間には木橋が架けられ、周辺は整備されて空堀や土塁の形が見学しやすくなっている。

南郭は、本郭から一段下の南側に設けられた郭である。都幾川の崖上に位置し、敵が直接本郭へ侵入できないように設けたものである。

## 3 自然環境

菅谷館跡は、県立比企丘陵自然公園の一角にあり、落葉樹のクヌギ、ケヤキ、モミジなどのほか、スギ、ヒノキの植林が一部にみられる。堀の肩に沿ってツツジやサツキ、さらに見学路に沿って四季折々の花木が植えられ、堀の中にはハナショウブもみられる。

また、緑の多い館跡内や都幾川の河原にかけては野鳥の生息に良好な環境となっており、さまざまな野鳥の観察が楽しめ、国の蝶であるオオムラサキの産卵場所にもなっている。

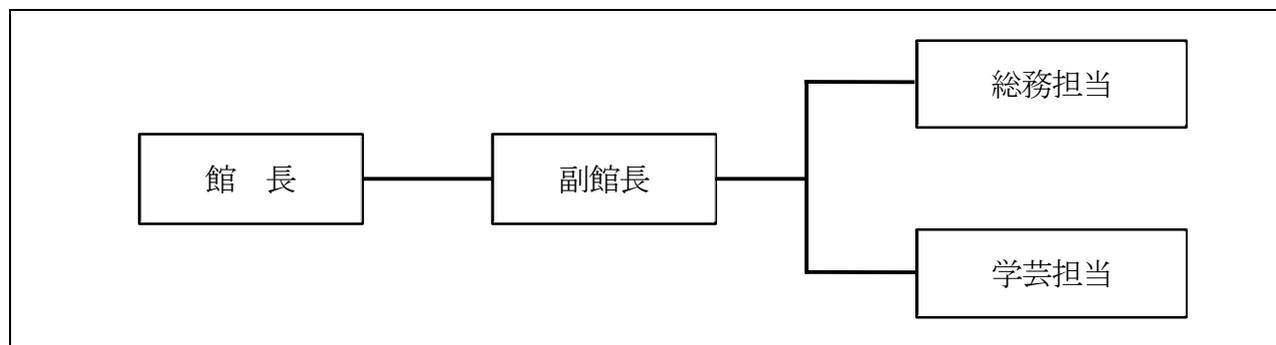
## 第3章 管理運営概要

### 1 嵐山史跡の博物館のミッション（使命）

嵐山史跡の博物館は、国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」や、比企地域の中世城館跡をはじめとする貴重な文化財を、将来にわたって確実に保存・管理するとともに、関係資料の収集、保管、調査研究を進め、その成果を展示等により公開していくことを基本的使命としている。

- (1) 菅谷館跡や比企地域の中世城館跡などをはじめとする貴重な文化財を次世代に継承するため、関係資料の調査研究、収集、保管、活用を図る。
- (2) 県内の中世城館跡や寺院跡、板碑や中世石造遺物等に関する調査研究の成果を各市町村等と連携しながら展示公開する。
- (3) 地域や学校と連携し、菅谷館跡や比企地域の中世城館跡などをはじめ、中世の史跡に関する学習を支援する。
- (4) ボランティアの育成や活用を積極的に行うとともに、地域社会の様々な団体と連携して事業を行うなど、開かれた博物館活動を推進する。
- (5) 菅谷館跡を中心にして県民が集い、交流し、活動する、やすらぎと潤いのある快適な歴史空間を提供する。

### 2 組織



### 3 職員

(令和7年4月1日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
(兼)館長	野中 仁	(兼)学芸主幹	末木 啓介	会計年度任用職員	小久保 祐子
副館長	渡辺 悟	(兼)学芸員	片山 健太郎	会計年度任用職員	鈴木 京子
主任	相馬 一行	会計年度任用職員	菊地 初枝	会計年度任用職員	高橋 美穂
学芸主幹	関口 真規子	会計年度任用職員	秋田 幸子	会計年度任用職員	戸口 光子
学芸員	堀口 智彦	会計年度任用職員	阿部 綾子	会計年度任用職員	富岡 久美子
主任専門員兼学芸員	水口 由紀子	会計年度任用職員	魚住 恵子	会計年度任用職員	藤永 恵子
主任専門員兼学芸員	君島 勝秀	会計年度任用職員	荻野 真由美		
(兼)担当課長	井原 秀実	会計年度任用職員	北堀 ゆき子		

## 4 予 算

歳入歳出予算の年次別状況

令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

歳入（一般財源・国庫補助金を除く）

行政財産使用料	32	40	40	40	40	40	40
展示館観覧料・特別利用料	593	755	830	851	1,026	866	798
土地建物貸付収入	71	67	66	65	229	229	241
物品売払収入	642	1,121	1,403	1,052	1,176	1,526	1,584
雑入（教育普及活動参加費）	562	574	613	613	273	257	94
合 計	1,900	2,557	2,952	2,621	2,744	2,918	2,757

歳出

管理運営費	9,186	8,118	7,411	6,105	6,027	6,017	6,232
オリパラおもてなしミュージアム	8,144	7,277	—	—	—	—	—
経常費	7,202	6,698	6,229	5,731	5,502	5,392	5,231
合 計	24,532	22,093	13,640	11,836	11,529	11,409	11,463

（単位：千円）

※「オリパラおもてなしミュージアム」事業は平成29年度～令和2年度

## 5 入館状況

（1）年度別入館者一覧表

年度	開館 日数	個人		団体		入館料免除者		年間合計	累 計
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等		
昭和52	116	4,390	1,469	3,894	231	6,306	2,439	18,729	18,729
53	291	9,951	3,344	11,893	1,878	6,637	8,807	42,510	61,239
54	296	11,233	3,721	8,578	1,559	5,240	12,970	43,301	104,540
55	294	11,046	3,726	7,898	1,918	4,614	12,628	41,830	146,370
56	296	10,598	3,653	7,588	2,086	3,732	15,682	43,339	189,709
57	295	10,067	3,715	6,064	2,018	4,538	16,808	43,210	232,919

年度	開館 日数	個人		団体		入館料免除者		年間合計	累 計
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等		
58	295	9,196	3,131	6,779	1,188	2,982	18,821	42,097	275,016
59	294	9,518	3,149	5,291	1,768	5,760	17,976	43,462	318,478
60	295	10,790	3,254	6,511	2,138	4,303	15,579	42,575	361,053
61	296	11,699	3,506	4,979	1,162	4,388	19,110	44,844	405,897
62	296	11,732	3,041	4,319	1,398	3,323	15,503	39,316	445,213
63	270	10,643	2,715	3,732	1,141	3,252	11,671	33,154	478,367
平成 元	292	10,952	2,506	4,491	1,769	4,230	10,179	34,127	512,494
2	294	10,790	2,422	3,350	1,070	4,121	8,310	30,063	542,557
3	294	11,318	2,309	3,360	467	5,179	11,878	34,511	577,068
4	292	12,178	2,273	3,107	402	6,490	9,760	34,210	611,278
5	219	10,660	1,860	2,049	303	4,407	6,760	26,039	637,317
6	247	10,116	1,867	1,261	512	4,426	6,235	24,417	661,734
7	294	10,948	361	1,232	20	13,200	14,071	39,832	701,566
8	218	8,390	301	1,021	59	12,775	11,491	34,037	735,603
9	296	10,501	358	1,332	46	34,288	17,359	63,884	799,487
10	295	9,697	295	615	75	46,096	13,726	70,504	869,991
11	292	8,154	355	693	61	39,780	12,057	61,100	931,091
12	296	6,932	279	677	61	43,883	11,222	63,054	994,145
13	300	7,369	284	595	32	32,152	15,124	55,556	1,049,701
14	299	7,213	283	611	0	42,083	11,827	62,017	1,111,718
15	297	6,465	254	521	182	37,713	10,679	55,814	1,167,532
16	279	8,290	300	380	205	37,106	10,070	56,351	1,223,883
17	288	8,542	258	752	141	35,770	12,443	57,906	1,281,789
18	301	7,728	212	628	40	46,668	9,882	65,158	1,346,947
19	309	6,674	207	542	99	50,455	9,346	67,323	1,414,270
20	308	5,659	241	480	110	50,043	9,033	65,566	1,479,836
21	308	6,076	241	388	74	46,729	8,109	61,617	1,541,453
22	308	4,567	185	325	40	41,167	7,201	53,485	1,594,938
23	308	4,651	217	348	53	41,106	6,694	53,069	1,648,007
24	308	3,648	138	687	22	41,666	5,719	51,880	1,699,887
25	308	4,368	135	1,017	38	38,942	5,071	49,571	1,749,458
26	308	5,469	149	1,379	25	31,974	6,312	45,308	1,794,766
27	308	4,843	112	1,588	2	38,521	3,451	48,517	1,843,283
28	178	5,120	111	889	1	42,665	3,625	52,411	1,895,694
29	306	5,853	138	1,260	43	53,756	4,679	65,729	1,961,423
30	312	8,361	218	2,555	14	57,108	5,787	74,043	2,035,466
令和 元	283	6,374	202	2,472	10	23,866	3,760	36,684	2,072,150
2	183	4,265	102	0	0	6,502	1,368	12,237	2,084,387
3	300	10,077	194	226	2	13,001	2,259	25,759	2,110,146
4	303	15,747	306	1,448	5	30,241	1,684	49,431	2,159,577
5	307	7,854	198	682	44	20,321	2,258	31,357	2,190,934
6	310	7,862	228	529	0	19,636	2,056	30,311	2,221,245

(2) 令和6年度利用者数一覧表

区分	有料入館者数												無料入館者数												合計							
	年間観覧券購入		個人		団体				他館年間観覧券による割引		有料入館者人数計	入館料計	年間観覧券による再来館者		団体								個人				無料入館者人数計	団体数	入館者数			
	一般	学生	一般	学生	一般		学生		一般	学生			小学校	中学校	高校	大学等	一般		小・中学生	障害者	視察	見学者	ロビー展									
日	一般	学生	一般	学生	団体数	人数	団体数	人数	一般	学生	一般	学生	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	小・中学生	障害者	視察	見学者	ロビー展	無料入館者人数計	団体数	入館者数
4月	0	0	535	13	3	64	0	0	1	0	613	58,050	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17	54	36	0	1,307	1,417	6	2,030
5月	1	0	745	16	0	0	0	0	0	0	762	76,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	31	61	41	3	1,606	1,742	6	2,504	
6月	0	0	709	14	3	92	0	0	1	0	816	77,180	1	0	1	59	0	0	0	0	0	0	3	11	39	71	1	1,962	2,144	7	2,960	
7月	0	0	440	18	2	42	0	0	0	0	500	47,420	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	3	9	72	61	13	1,265	1,428	6	1,928	
8月	0	0	505	23	0	0	0	0	0	0	528	51,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	88	24	6	1,180	1,311	2	1,839	
9月	0	0	504	19	1	20	0	0	0	0	543	52,550	0	0	2	233	0	0	1	31	0	0	4	17	41	37	21	1,544	1,924	8	2,467	
10月	3	0	529	13	3	66	0	0	0	0	611	61,110	1	0	5	259	0	0	0	0	0	0	8	26	61	33	9	1,709	2,098	16	2,709	
11月	0	0	857	14	4	122	0	0	1	0	994	93,780	0	0	5	303	0	0	0	0	0	0	12	303	83	70	9	2,414	3,182	21	4,176	
12月	0	0	435	8	0	0	0	0	0	0	443	43,900	0	0	2	163	1	8	0	0	0	0	4	17	23	25	3	1,147	1,386	7	1,829	
1月	0	0	804	15	0	0	0	0	1	0	820	81,210	5	0	4	187	0	0	0	0	0	0	7	18	44	42	10	1,373	1,679	11	2,499	
2月	0	0	1,189	46	2	42	0	0	4	0	1,281	123,960	1	0	3	127	0	0	0	0	0	0	10	43	70	50	6	1,849	2,146	15	3,427	
3月	1	0	584	29	4	81	0	0	1	0	696	65,970	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	26	42	62	3	1,113	1,247	11	1,943	
合計	5	0	7,836	228	22	529	0	0	9	0	8,607	833,280	12	0	22	1,331	2	16	1	31	0	0	69	531	678	552	84	18,469	21,704	116	30,311	

## 第4章 令和6年度事業報告

---

### 事業の概要

#### (1) 管理運営事業

- ア 本館及び展示館の施設設備等の保守点検・維持管理を行った。  
また、展示館を開館して、資料の展示公開及び活用を図った。
- イ 開館日数 年間 310日 総利用者数 55,380人（アウトリーチ含む）
- ウ 臨時休館  
1月6日（月）～1月10日（金）、3月3日（月）～3月7日（金）  
常設展の撤収、企画展展示作業

#### (2) 菅谷館跡管理事業

土塁・空堀等遺構の保存を図り、史跡公園として広く安心・安全に県民の利用に供するため、清掃、除草、樹木の伐採・剪定、補修等の維持管理を行った。

#### (3) 調査研究事業

国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」及び比企地域の中世城館跡を中心に、考古資料の収集及び調査研究を行った。

- ア 国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」関連資料調査
- イ 武蔵武士に関する調査
- ウ 中世城館跡に関する調査
- エ 板石塔婆の調査
- オ 中世石造物の調査
- カ 古代中世遺跡の調査

#### (4) 教育普及事業

調査研究事業の成果や収蔵資料を活用した講座・見学会等の開催や、各種印刷物を刊行した。

- ア 歴史講座1 会場 国立女性教育会館  
8月30日（金） 「虚実の斎藤実盛—平家物語「実盛」の段を考える—」  
熊谷市史編さん室 蛭間 健悟 氏、琵琶演奏 弦月流創始 須田 隆久 氏 120人
- イ 歴史講座2 会場 国立女性教育会館  
10月4日（金） 「上杉謙信の最終戦略」  
歴史家 乃至 政彦 氏 153人
- ウ 歴史講座3 会場 国立女性教育会館  
12月5日（木） 「山内上杉氏の城館—関東管領から戦国大名へ—」  
江戸東京博物館分園江戸東京たても園 齋藤 慎一 氏 217人
- エ 企画展記念講演会 会場 国立女性教育会館  
2月16日（日） 「軍学の展開—築城論・占星術から武士道まで—」  
茨城大学 高橋 修 氏 261人
- オ 博物館ミニ講座1 会場 嵐山史跡の博物館 講堂  
6月14日（金） 「城跡の見かた・歩きかた」  
当館学芸員 堀口 智彦 70人

カ	博物館ミニ講座2	会場 嵐山史跡の博物館 講堂			
	9月20日(金)	「道と考古学」			
			当館主任専門員兼学芸員	石坂 俊郎	65人
キ	博物館ミニ講座3	会場 嵐山史跡の博物館 講堂			
	11月8日(金)	「比企の縄文」			
			当館主任専門員兼学芸員	君島 勝秀	46人
ク	文化財めぐり				
	第1回	5月17日(金) 「岩殿観音・正法寺と武士の本拠を訪ねる」			27人
	第2回	10月20日(日) 「大蔵と鎌倉街道上道」			25人
	第3回	2月28日(金) 「松山城跡を訪ねる」			55人
ケ	こどもの日記念事業、夏休みこども体験教室				
	5月5日(日)	「かぶとやこうちぎを着けてみよう」			38人
	7月27日(土)	「金継ぎにチャレンジ」(午前57人・午後48人)			105人
	8月10日(土)	「紙よろいをつくろう」(午前10人・午後2人)			12人
コ	館跡整備イベント				
	12月1日(日)	「お城開き ～切り拓け菅谷館跡～」			28人
サ	県民の日記念事業				
	11月14日(木)	「昔の遊び」(投扇・貝合わせ・お手玉・けん玉など)			26人
シ	ボランティアの受け入れ				
	(ア)	博物館ボランティア(大人による事業アシスタント)	登録	23人	活動参加延べ人数 187人
	(イ)	高校生ボランティア(高校生による子ども向け事業のアシスタントなど)	登録	11人	活動参加延べ人数 27人
	(ウ)	史跡環境保全ボランティア(館跡内の樹木の伐採や剪定のボランティア)	登録	24人	活動参加延べ人数 67人
		(この他、協力団体2団体あり)			
					合計 281人
ス	学校教育活動の支援				
		主に小・中学校の児童・生徒を対象にした体験学習等を通年で実施した。			
	(ア)	体験学習等実施	利用数	延べ 21校、合計 1,326人	
	(イ)	展示室・館跡見学実施	利用数	延べ 2校、合計 52人	
			合計	利用数 延べ 23校、合計 1,378人	
セ	入館者に対する解説・レファレンスの実施				46件
ソ	刊行物				
	・館報 第43号				(A4判 21頁)
	・企画展「城ってなんだ」図録				(A4判 32頁)
タ	関係機関、団体との情報交換及び連絡提携				
	・彩の国・文化の森連絡協議会との連携				1件

#### (5) 常設展示事業

##### ア 比企歴史の丘ガイダンス

ビデオブース等で比企地域の様々な文化財や観光地などを映像で紹介し、探訪コースや文化財などの情報をはじめ、彩の国比企歴史の丘に関する総合案内を行った。

## イ 比企の古代・中世遺跡

畠山重忠ロボット・男衾三郎絵詞・菅谷館跡とその周辺・武士の館・史跡比企城館跡群・供養と埋葬の各コーナーで中世における武士と庶民の暮らしを紹介した。

## ウ 多言語展示映像の公開

男衾三郎絵詞（東京国立博物館蔵）の画像をもとに、「鎌倉武士の世界」「鎌倉武士の館」「鎌倉武士の暮らし」「鎌倉武士の戦」「鎌倉武士の武芸鍛錬」の5本を、日本語、英語、韓国語、中国語及び台湾語について制作し、映像展示システムを構築の上、常設展で公開している。

## エ ロビー展示

(ア) 比企の中世石造物	4月1日（月）～4月14日（日）
(イ) 堅香子俳句展	4月16日（火）～6月6日（木）
(ウ) 武蔵嵐山を描く展	6月7日（金）～6月23日（日）
(エ) 嵐山町写真クラブ作品展	6月25日（火）～8月4日（日）
(オ) 菅谷館跡の自然	8月6日（火）～9月8日（日）
(カ) 鎌倉街道上道の今昔	9月10日（火）～10月20日（日）
(キ) 大妻嵐山中学校・高等学校 生徒作品展	10月22日（火）～1月5日（日）
(ク) 空から見た中世城館	1月11日（土）～3月2日（日）
(ケ) 中世寺院跡と板碑	3月8日（土）～3月31日（月）

## オ スポット展示

(ア) お経いろいろー長瀬総合博物館旧蔵資料からー	4月1日（月）～7月7日（日）
(イ) この世の器とあの世の器ー長瀬総合博物館旧蔵資料からー	7月9日（火）～1月5日（日）

## カ 館跡ガイドツアー

(ア) 4月27日（土）13人	(イ) 5月5日（日）6人	(ウ) 11月14日（木）10人
(エ) 1月11日（土）25人	(オ) 2月16日（日）74人	(カ) 3月22日（土）8人
合計136人		

## (6) 企画展示事業

### 「城ってなんだ」

中世に造られた城館について、当時の使われ方や後世の人々からの認識を示す考古資料、歴史資料を紹介し、過去の人々や、現代の我々にとって城館が持つ意味を考える機会とした。

- ・展示資料数 101点（資料90点、写真パネル11点）
- ・会 期 1月11日（土）～3月2日（日）（47日間）
- ・観 覧 者 数 2,868人
- ・展 示 紹 介 121人

## (7) 資料利用状況

ア 資料利用（熟覧・実測・撮影等） 3件 5点

## (8) 資料の受入

- ア 資料の受け入れ 6点
- イ 図書を受け入れ 591点

(9) 環境調査

- ア 時 期 歴史と民俗の博物館職員が毎月 1 回実施  
イ 場 所 収蔵庫内10か所  
ウ 実施目的 収蔵庫に生息すると考えられる昆虫、菌類の状況調査、及び温湿度管理  
エ 方 法 加害生息生物（トラップ）  
温湿度計測（データロガー）

(10) 比企地区文化財振興協議会との協同事業

- ア 比企歴史の丘巡回文化財展「比企のタイムカプセル23 比企の縄文時代～縄文人の道具～」  
縄文時代の道具をテーマとして、比企郡内の各時期の縄文土器や石斧などの生活道具や耳飾りなどのアクセサリー、石棒や土偶などのまつりの道具などの展示を行った。  
会 期 10月22日（火）～11月24日（日）（当館）  
観覧者数 1,814人（当館）

## 第5章 嵐山史跡の博物館 令和7年度事業計画

---

### 1 経営の基本方針

- (1) 国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡（以下「菅谷館跡」という。）」を適切に管理し、県民にやすらぎのある快適な歴史空間を提供する。
- (2) 菅谷館跡や埼玉県の中世城館跡等に関する資料の収集、保管、調査研究を行い、その成果を展示等により公開する。
- (3) 収蔵資料等を活用し、学校教育や生涯学習への支援を行う。
- (4) さきたま史跡の博物館をはじめ、市町村や地域の諸団体と連携し、県民サービスの向上に努める。
- (5) 財源の確保や効率的な財政運営に努め、総コストの抑制を図る。

### 2 中期目標

菅谷館跡保存活用計画の実現に向けた各種事業の実施

### 3 重点事業

- (1) 菅谷館跡及び埼玉県の中世城館跡に関する考古資料の調査研究、収集、保存管理活動の推進
  - ア 中世考古資料に関する調査研究活動の推進
    - ・菅谷館跡及び埼玉県の中世史跡に関する調査研究と成果の展示公開
  - イ 資料の収集、保存管理
    - ・収蔵資料（考古・歴史）の収集、保存管理
- (2) 史跡や収蔵品を活用した地域活性化の推進
  - ア 比企歴史の丘整備促進事業の推進
    - ・比企地域中世遺跡群の活用推進
  - イ 菅谷館跡の維持、管理の徹底
    - ・菅谷館跡及び博物館施設の適切な維持管理
    - ・館のオリジナルグッズの開発・普及
  - ウ 学校教育活動の支援の推進
    - ・収蔵品を用いた体験活動など児童生徒の学習支援の推進
- (3) 戦略的な広報活動と、いつでも・だれでも参加できる事業の展開
  - ア ホームページ、SNSを通じた適時適切で親しみやすい広報の展開
  - イ デジタル化した中世資料の公開
  - ウ 参加者のニーズをとらえた講座や見学会等の実施
- (4) 地域や民間などとの連携による事業展開
  - ア 嵐山まつり、スリーデーマーチなど地元主催事業との連携協力
  - イ 館内ロビー展示の開催
  - ウ ボランティアの養成と活動機会の確保
- (5) 嵐山史跡の博物館開館50周年記念事業の検討

## 4 事業の概要

### (1) 管理運営事業

- ア 本館及び展示館の開館に係る事務及び施設設備等の保守点検・維持管理を行う。
- イ 開館予定日数 年間304日
- ウ 臨時休館  
企画展開催に伴う臨時休館（8日間）  
令和8年1月4日（日）、1月6日（火）～1月8日（木）、3月3日（火）～3月6日（金）
- エ 臨時開館  
日曜祝日の中間日による来館者増に伴う臨時開館  
9月22日（月）

### (2) 菅谷館跡管理・整備事業

菅谷館跡を史跡公園として広く安心・安全に県民の利用に供するため、清掃、除草、樹木の伐採・剪定、補修等の維持管理を行うとともに、土塁・空堀等遺構の保存を図る。

令和5年度に策定された保存活用計画に基づき、館跡内の巡視を定期的実施し、危険個所の早期発見に努めるなど、適切に管理していく。同様に館跡の環境整備と併せてサインや見学箇所・ルート等の整備を図り、史跡の魅力向上を目指す。

比企城館跡群連絡会議を通じ、比企城館跡群として連携した保存と活用を推進する。

### (3) 調査研究事業

菅谷館跡及び埼玉県の中世を中心とした郷土の考古資料ならびに歴史資料の収集、調査及び研究を行う。

- ア 国指定史跡「比企城館跡群」の史跡整備に関する調査と研究
- イ 菅谷館跡関連資料調査
- ウ 武蔵武士に関する調査
- エ 中世城館跡に関する調査
- オ 板石塔婆の調査
- カ 中世石造物の調査
- キ 古代中世遺跡の調査

### (4) 常設展示事業

- ア 比企歴史の丘ガイダンス  
ビデオコーナー等で比企地域の様々な文化財や観光地などを映像で紹介し、探訪コースや文化財などの情報をはじめ、彩の国比企歴史の丘に関する総合案内を行う。
- イ 埼玉県の中世史跡の案内  
埼玉県内の中世史跡を玄関ホールの模型・展示パネル及びビデオコーナーで案内する。
- ウ 秩父平氏の本拠・畠山重忠・戦国時代の城館・供養と埋葬  
畠山重忠ロボット、秩父平氏の本拠・嵐山町、菅谷館の主 畠山重忠、中世前期の武士の館、国指定史跡比企城館跡群、供養と埋葬、そしてスポット展の各コーナーで、中世における武士と庶民の暮らしを紹介する。

## エ 学習コーナー

常設展示や企画展示に関連した図書を配架し、来館者が自由に閲覧できるスペースを提供。生涯学習活動の一助とする。

## オ 映像情報提供コーナー

プロジェクトを活用し、各種地図情報、歴史年表、文化財関係トピックなど多彩な情報を来館者に提供する。

## (5) 企画展示

中世城館跡・寺院、板碑及び石造物、並びに武蔵武士などの人物に関する調査・研究成果を展示公開することにより、中世の歴史に関する理解と普及を図る。

ア テーマ 東山道と中世の道（仮）

イ 主催 嵐山史跡の博物館

ウ 概要 古代の官道である東山道武蔵路や、中世に武士の本拠と鎌倉をつないだ鎌倉街道など、かつて県域を通っていた道に注目し、関連する遺構や遺跡から出土した考古資料のほか、古代や中世にかけて作成された歴史資料などから歴史的な変遷をひも解く。また、人々の往来のみならず生産・流通や、信仰といった側面からも道の意義を考える。

エ 期 日 1月9日（金）～3月1日（日）

オ 会 場 嵐山史跡の博物館展示室

## (6) ロビー展示

ロビーにおいて、民間団体の作品発表、地域の文化財を紹介する展示等を行う（年間8回）。

ア 中世寺院跡と板碑展 4月1日（火）～4月20日（日）

イ 堅香子俳句展 4月22日（火）～6月15日（日）

ウ 嵐山町写真クラブ展 6月17日（火）～7月27日（日）

エ 菅谷館跡の植物と菌類展（協力：嵐山町教育委員会）  
7月29日（火）～9月7日（日）

オ 文化財写真展1 9月9日（火）～10月26日（日）

カ 大妻嵐山中学校・高等学校生徒作品展  
10月28日（火）～12月28日（日）

キ 企画展関連展 1月9日（火）～3月1日（日）

ク 文化財写真展2 3月7日（土）～3月31日（火）

## (7) 教育普及事業

調査研究の成果や収蔵資料を活用した講座・見学会等の開催や各種印刷物の刊行を行う。

ア 歴史講座の開催（年3回：8月29日・10月3日・12月5日）

イ 文化財めぐりの開催（年3回：5月23日・10月24日・2月27日）

ウ 子供の日記念事業の実施（年1回：5月5日）

エ 夏休みこども体験教室の実施（年2回：7月26日、8月23日）

オ 館跡ガイドツアーの実施（年6回：4・5・6・1・2・3月に各1回）

カ 菅谷館跡整備関連事業の実施（年1回：12月7日）

- キ 県民の日記念事業の実施（年1回：11月14日）
- ク インターンシップ・体験学習の実施（通年）
- ケ レファレンスの実施（通年）
- コ 企画展図録等の刊行

## （8）資料保存事業

- ア 資料の整理、保存及び資料台帳の整理
- イ 図面、拓本、写真資料のカード化及び電子データ化
- ウ 有害生物モニタリングや忌避剤散布による生物防除

## 5 主な事業の内容

### （1）歴史講座

外部の研究者を講師に迎えて郷土の歴史や文化を地域の人々に紹介し、歴史的文化遺産と郷土に対する理解を深めてもらうことを目的に開催する。

- ◆ 歴史講座1 「吾妻鏡の成り立ちと伝来」
  - ア 日時 8月29日（金） 14：00～15：30
  - イ 会場 国立女性教育会館講堂
  - ウ 定員 500人
  
- ◆ 歴史講座2 「安保文書の伝来と中世武蔵武士」（仮）
  - ア 日時 10月3日（金） 14：00～15：30
  - イ 会場 国立女性教育会館講堂
  - ウ 定員 500人
  
- ◆ 歴史講座3 「新編武蔵風土記稿」関連講座（仮）
  - ア 日時 12月5日（金） 14：00～15：30
  - イ 会場 国立女性教育会館講堂
  - ウ 定員 500人

### （2）博物館ミニ講座

博物館や文化財などに興味を持ち始めた初心者向けの講座。博物館そのもののほか、博物館が所在する菅谷館跡、周辺地域の魅力を知ってもらうことを目的に開催する。当館学芸員が講師をつとめる。

- ◆ 博物館ミニ講座1
  - ア 日時 9月21日（日） 14：00～15：30
  - イ 会場 嵐山史跡の博物館講座室
  - ウ 定員 70人

◆ 博物館ミニ講座 2

ア 日 時 11月9日(日) 14:00~15:30  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講座室  
ウ 定 員 70人

◆ 博物館ミニ講座 3

ア 日 時 1月18日(日) 14:00~15:30  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講座室  
ウ 定 員 70人

(3) 企画展関連講演会 鎌倉街道関連講座

企画展の内容について理解を深めてもらうため、展示に関連した講演会を開催する。

ア 日 時 2月15日(日) 14:00~15:30  
イ 会 場 国立女性教育会館講堂  
ウ 定 員 500人

(4) 文化財めぐり

県内各地に所在する史跡を現地で学芸員が説明し、身近な郷土の歴史・文化に対する理解を深める。

ア 概 要

第1回 5月23日(金) 「鉢形城跡を訪ねる」  
第2回 10月24日(金) 「菅谷館跡周辺をめぐる」(仮)  
第3回 2月27日(金) 「鎌倉街道関連の文化財をめぐる」(仮)

イ 定 員 各回30人

(5) 子供体験教室

日本の歴史や文化について学習する機会を提供する。

- ・ 子供の日記念事業 5月5日(月・祝) 10:00~15:30
- ・ 夏休み親子体験教室「金継ぎにチャレンジ」

ア 日 時 第1回 7月26日(土) 10:00~12:00  
第2回 8月23日(土) 10:00~12:00  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講堂  
ウ 定 員 各回20組  
エ 対 象 児童とその保護者

(6) 県民の日記念事業

昔の遊びの体験を中心に各種体験学習・実演を行い、忘れられつつある郷土の暮らしや文化に親しんでもらう。

ア 日 時 11月14日(木) 10:00~15:00  
イ 会 場 エントランスロビー・三ノ郭芝生広場など

## (7) お城開き

館跡が見学しやすくなる冬の季節に先立ち、学芸員立ち合いのもと、普段は立入を禁じている堀や土塁など遺構の草刈りや清掃を行う。併せて、菅谷館跡についての特別解説も実施。

ア 日 時 12月7日(日) 10:00~15:00(予定)  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館・菅谷館跡  
ウ 対 象 一般  
エ 定 員 30名

## 第6章 収蔵資料概要

---

埼玉県内には、約3万5000年前の旧石器時代から中世、近世まで、現在1万余箇所の「周知の埋蔵文化財包蔵地」が所在する。集落や古墳、城跡、寺院跡など、その時代や性格は多岐にわたる。さらに比企地域には国指定史跡5件、県指定史跡18件が所在するとともに、武蔵武士にゆかりある中世の重要な遺跡も見ることができる。これらの遺跡について、当館ではこれまでに「古代窯業調査」「板石塔婆緊急調査」「中世寺院跡調査」など、分布調査や発掘調査を実施しており、それらの調査で収集した資料について、前身である歴史資料館の時から収蔵している。

さらに本県には特色ある歴史資料や民俗資料も数多く受け継がれている。急速な都市化や生活様式の変貌によって散逸・消滅の危機に瀕している歴史資料、民俗資料の保存が長らくの課題となってきた。とりわけ比企地域は緑泥石片岩製の産地であり、県内には2万7千基もの板碑（中世石塔）が確認されている。そのため、当館には板碑を中心として多数の中・近世の歴史資料が収集保管されてきた。

なお、歴史資料館の時代には、「比企丘陵域の生産・生業」を主なテーマとして、生産・生活用具をはじめとする民俗資料も収集保管してきたが、それらの民俗資料7,331点は、平成18年の県立博物館施設再編整備計画に基づき2010年より歴史と民俗の博物館が収蔵することとなった。これらの民俗資料は、現在もなお分散収蔵という形で当館に収められている。

現在、当館では上記の経緯を踏まえつつ、国指定史跡比企城館群跡「菅谷館跡」や、比企地域の中世城館跡をはじめとする貴重な文化財を、将来にわたって確実に保存・管理するとともに、関係史料の収集、保管、調査研究を進めるという博物館のミッション（使命）に基づき資料を収集保管している。

当館の収蔵資料点数は以下のとおり。

- ・考古資料 722点：「古代窯業調査」「中世寺院跡調査」などで収集した須恵器や瓦を中心に収蔵
- ・歴史資料 549点：板石塔婆をはじめとする中世の石造物を中心に収蔵

## 第7章 施設設備の概要

### 1 施設設備の概要

所在地 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷757番地

敷地面積 約126,731m<sup>2</sup>

延床面積 3,532.90m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地上3階, 塔屋1階

天井高 事務室・研究室H=2,500mm

廊下H=2,200mm

講座室H=5,000mm

収蔵庫H=4,830mm

展示室H=3,800mm

### 仕上概要

屋根 アスファルト防水・シート防水

外壁 コンクリート打放しアクリル系吹付タイル

内部 (ロビー) 天井・石膏ボード、壁・コンクリート打放しアクリル系吹付タイル、床・特殊レンガタイル貼り

(講座室) 天井・石膏ボード、壁・難燃性練付ベニヤパネル貼り、幅木・ラワン幅木、床・塩化ビニルタイル

(特別収蔵庫) 天井、壁・檜縁甲板張り、床・檜フローリング貼り

(研究室) 天井・岩綿吸音板、壁・モルタルペンキ塗り、幅木・塩化ビニル幅木、床・塩化ビニルタイル

(展示室) 天井・溶接金網、壁・ヘンククロス貼り、幅木・塩ビソフト幅木、床・塩ビシート貼り

(展示ホール) 天井・石こうボード、壁・コンクリート打放し小タタキ仕上、床・塩ビシート貼り

(展示ケース) 天井・アクリルルーバー、壁・可動パネル、床・パンチカーペット

### 空調設備

空調方式 パッケージ形エアコン

ダイキン工業株式会社製

<SZYV140CA>

玄関ロビー(4台)、講座室、(2台) 展示館(4台)、体験学習ホール(4台)

<SZYV80CAT>

スタジオ(1台)、考古資料室(1台)

<RZYP140CB> 研究員室(1台)

<FXYFP36MJ> 収蔵庫(8台)

<FXYFP36MB> 図書室・書庫(3台)、会議室(1台)

<FXYP28MJ> 収蔵庫 (8台)  
 <SZRV80BAT> 民俗資料室 (1台)、歴史資料室 (1台)  
 <SZRH40BAT> 1階ホール (1台)  
 <SZRC160BA> 展示室 (1台)  
 <SZRV160BAD> 調査記録保管室 (1台)  
 三菱重工製 1台  
 <ASJ140T> 特別収蔵庫 (1台)  
 エアハンドリングユニット、赤外線式蒸気加湿器

## 電気設備

受電電圧 3相3線式 6,600V  
 変圧器 電灯用 単相 75kVA×1基  
 動力用 3相100kVA×1基  
 冷房用 3相150kVA×1基

### 高圧進相用コンデンサー

3相50kVA 1台 3相30kVA 1台

### 放送設備

非常用 (業務兼用)  
ラック型アンプ 600W 1台

### 電話設備

ボタン式824 22台

### 防犯設備

電波式感知器 (展示ホール)  
磁気近接スイッチ5回路 (30個)

非常照明設備 ミニハロゲンランプ JB13×1 埋込非常灯電池内蔵 100V 53台  
 ミニハロゲンランプ JB13×1 直付非常灯電池内蔵 100V 16台  
 ミニハロゲンランプ JB30 埋込非常灯電池内蔵低天井用 100V 30台  
 ミニハロゲンランプ JB30 直付非常灯電池内蔵低天井用 100V 13台  
 ミニハロゲンランプ JB30×1 直付非常灯電池内蔵高天井用 100V 6台

照明設備 (展示室) LED、白熱灯、ピンスポット併用 調光器23台により照度調節可能  
 (収蔵庫) LED  
 (その他) LED

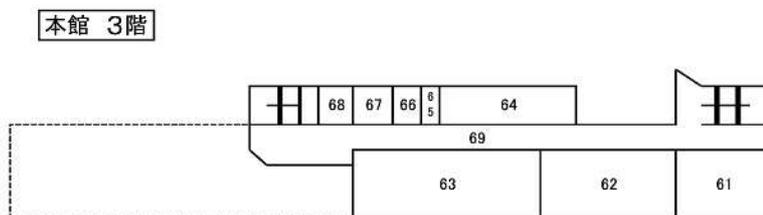
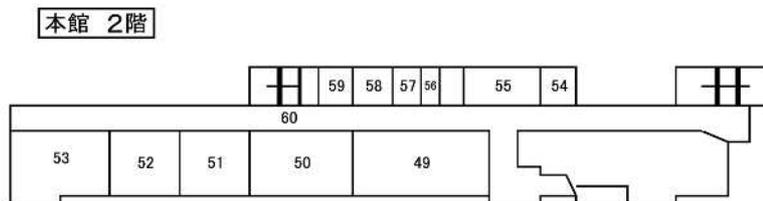
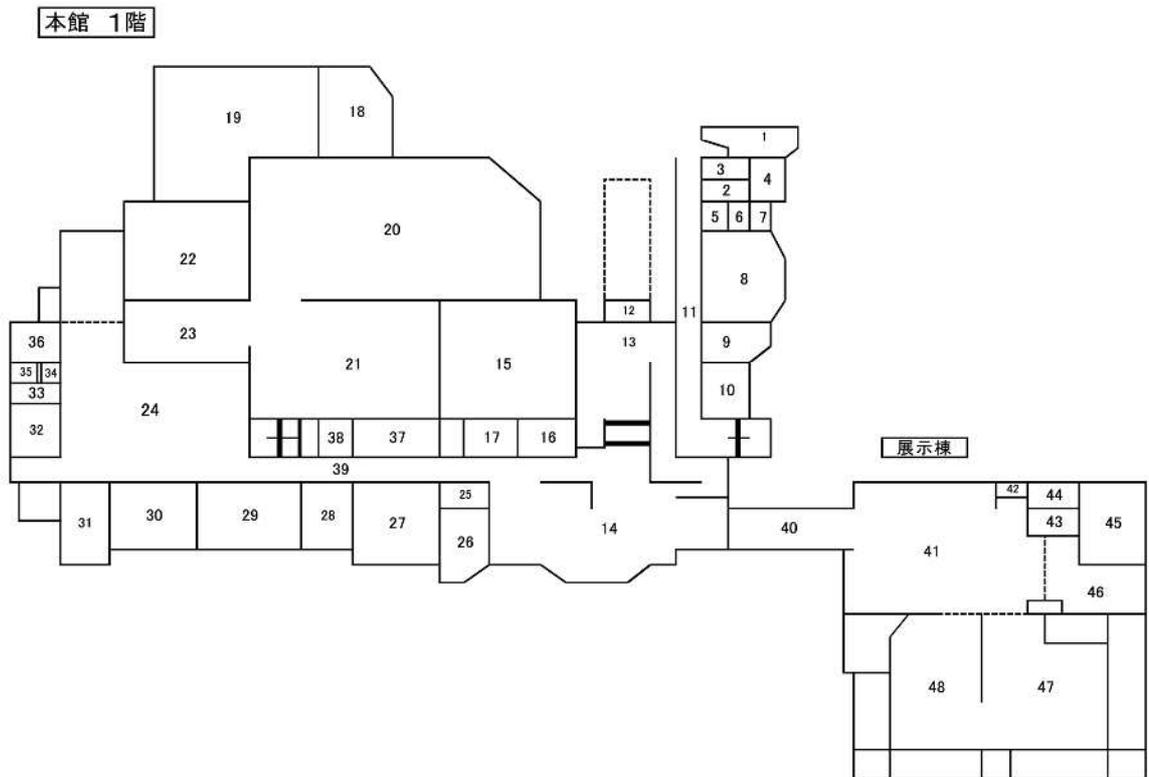
## 衛生設備

給水設備 受水槽 4.5m<sup>3</sup>  
 給水ポンプユニット  
 80φ×765ℓ/min×21m×1.5kw×3台 (並列ローテーション)  
 給湯設備 局所給湯方式 (工作室・シャワー室・警備員室・各階湯沸室)  
 プロパンガスボンベ 50kg×2本

## 消防設備

消火設備 屋内消火栓7か所 消火ポンプ80φ×450ℓ/min×63m×11kw×1台  
 火災報知器 受信機 P型1級15回線 排煙受信盤15回線 防煙垂れ壁 1か所  
 熱感知器 101個 煙感知器 38個

## 2 各室配置図及び面積



番号	室名	面積 (㎡)	番号	室名	面積 (㎡)
1	作業員室	23.70	39	廊下・階段	56.50
2	警備員室	8.64	40	通路	37.90
3	浴室	6.70	41	比企歴史の丘ガイダンス (エントランス)	140.66
4	休養室	15.10	42	身障者便所	4.40
5	湯沸室	4.68	43	男子便所	9.50
6	ロッカー室	3.70	44	女子便所	11.02
7	印刷室	5.70	45	空調機器室	41.76
8	管理事務室	55.05	46	倉庫	41.40
9	副館長室	17.25	47	展示室 I	174.24
10	館長室	25.00	48	展示室 II	142.56
11	廊下・階段	69.05	49	研究員室	64.00
12	風除室	10.80	50	考古資料室	40.00
13	ホール	96.00	51	歴史資料室	30.00
14	ロビー	167.70	52	民俗資料室	30.00
15	講座室	144.00	53	記録保存室	43.50
16	男子便所	16.80	54	更衣室 (1)	7.50
17	女子便所	13.20	55	空調機械室	22.50
18	電気室	48.62	56	更衣室 (2)	5.70
19	機械室	140.00	57	男子便所	9.00
20	収蔵庫 (1)	280.00	58	女子便所	7.50
21	収蔵庫 (2)	192.00	59	湯沸室	7.50
22	特別収蔵庫	80.00	60	廊下・階段	184.28
23	仮収蔵庫	60.00	61	会議室	47.00
24	体験学習ホール	165.00	62	調査記録保存室	70.50
25	器材庫	8.00	63	図書室・書庫	94.00
26	暗室	19.37	64	空調機械室	24.00
27	スタジオ	47.00	65	倉庫	8.70
28	整理室	20.00	66	男子便所	6.60
29	工作室 (2)	40.00	67	女子便所	6.60
30	工作室 (1)	40.00	68	湯沸室	7.50
31	殺虫消毒室	23.50	69	廊下・階段	134.55
32	乾燥室	21.30	床面積 1階 2,654.29 2階 465.50 3階 413.11 延床面積 3,532.90		
33	便所	6.00			
34	湯沸室	3.00			
35	シャワー室	7.50			
36	警備員控室	18.70			
37	倉庫 (1)	22.20			
38	倉庫 (2)	7.50			

# 利 用 案 内

## 開 館 時 間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

なお、7・8月は午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

## 休 館 日

毎週月曜日（ただし、その日が休日等のときは、開館）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

## 臨 時 休 館 日（令和7年度）

①令和8年1月4日（日）～1月8日（木） ②令和8年3月2日（月）～3月6日（金）

## 臨 時 開 館 日（令和7年度）

①令和7年9月22日（月）

## 観 覧 料

区 分	個 人	団体（20人以上）1人
一般	100円	60円
高校生・学生	50円	30円

義務教育終了前（中学生以下）の方、障害者手帳等お持ちの方（付添の方1名含む）は、無料です。

## 観 覧 料 免 除

教育課程に基づく学習活動として、展示館の見学を希望される場合は、事前に（なるべく10日前までに）所定の手続きをおとり下さい。観覧料が免除されます。

また、その他団体の方でも観覧料が免除となる場合がありますので、詳細は博物館総務担当までお問い合わせ下さい。

観覧料等免除申請書の様式は、当博物館のホームページのほか、埼玉県庁ホームページの電子サービス窓口からダウンロードできます。

## 写 真 撮 影

展示館の写真撮影は原則可能ですが、注意事項をお守りのうえ撮影してください。

## 所 在 地

〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷 757

電話 0493-62-5896、5652 FAX 0493-61-1060

ホームページ <https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>

Eメール [s625896@pref.saitama.lg.jp](mailto:s625896@pref.saitama.lg.jp)

## 交 通

東武東上線 「武蔵嵐山駅」西口下車徒歩15分

関越自動車道 「東松山インター」より国道254号線小川町方面へ約10分

「嵐山・小川インター」より国道254号線東松山方面へ約10分



**埼玉県立嵐山史跡の博物館『館報』第44号**

発行日 令和7年7月18日

編集・発行 埼玉県立嵐山史跡の博物館

〒355-0221

埼玉県比企郡嵐山町菅谷757

TEL 0493-62-5896

FAX 0493-61-1060

<https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>